

CENTENARY

2010. 10. 29

第 57 号

兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

部活動特集 その式

文化部が凄い!

【書道部】

特別賞受賞

8月に宮崎県で開催された「第34回全国高等学校総合文化祭」において、本校3年生熱田智美さんの「臨竹簡」が「特別賞」を受賞しました。この作品は、左の写真では少しわかりにくいですが、竹簡をのびやかに書いたものです。

なお、同作品は今年度いっばい「全国大会特別賞受賞」という勲章を刻んでもらい、県教育長室に飾られています。



熱田智美さんと作品

また、書道部顧問の山口先生は、今年度の日展に入選されました。先生はここ数年日展に連続入選されています。お祝い申し上げます。

【写真部】

最優秀賞受賞

3年生高見健太君の作品が県高等学校写真コンクールで最優秀賞を受賞しました。この結果、同作品は近畿高校総文に出品されることになりました。



写真部高見君の作品「跳躍」

高見君本人に作品について話してもらいました。

「今回受賞した作品は、6月の文化祭練習中に撮ったものです。全員が最高点にいる躍動感のある瞬間を狙いました。県大会で最優秀通過するなんて思ってもいなかった。近畿総文は11月6日・7日の両日に奈良の入江泰吉写真美術館で開かれます。」

結果を期待しながら見に行こうと思っています」

【美術部】

2年生の大濱千尋（おおはまちひろ）さんが、第30回近畿高等学校総合文化祭美術・工芸部門展（奈良県文化会館）に出品します。大濱さんは昨年度の県総文で1年生ながら特選を受賞し、兵庫県代表として推挙されました。出品する絵画作品は、自画像とごみ箱を題材とし、独特な構図で自己の内面を表現したものです。近畿総文では、講演会、交流会等が予定されています。



大濱さんの作品

だき、近畿総文への参加補欠校に選ばれていましたが、このたび正式に参加が決定しました。

研鑽会では、5人のチームで、お点前をして客をもてなす亭主側と、招かれてお菓子とお茶をいただく客側の両方を行う中で、礼儀作法やチームとしてのまとまり等を評価・審査されました。

講師の後藤昭子先生のご指導のもと、2年生を中心に自主練習を行うなど、日ごろから熱心に稽古をし、立派なお点前ができるようになっていきます。

今回の近畿総文では例外的に茶道部門だけ神戸の相楽園で実施されることになっています。11月14日当日も、普段通りおもてなしの心を大切に、素晴らしいお茶席を経験してほしいと思います。

【茶道部】

茶道部は、11月14日（日）に神戸相楽園で行われる近畿高等学校総合文化祭茶道部門のイベントに参加することになりました。

8月29日に行われた兵庫県研鑽会で優秀賞をいた



茶道部のメンバー

ちょっと一言 先号で体育系部活動の様子をお知らせしましたが、今号では文化系部活動の活躍をお知らせしています。文化部も県総合文化祭、近畿総合文化祭、全国総合文化祭と活躍の場が広がっています。秋は県、近畿の総合文化祭が開催され、来夏の全国につながります。また、県レベルでは「数学・理科甲子園」という大会も開催されています。これは数学、理科、科学技術の知識や技能を、3人1組の団体に競い合うというものです。今年本校は初出場ながら予選52組中23位という成績でした。残念ながら本選出場はならなかったのですが、来年への希望をつなげるものとなりました。